

野菜の需給・価格動向レポート(平成26年1月20日版)

平成26年1月20日
野菜需給部

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	12月の価格情報		1月の価格情報		生育及び価格の1月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基とな る平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基とな る平均価格	指定野菜の関東・ 近畿ブロック旬別 平均販売価額				
				上旬				
葉 茎 菜	キャベツ	66.3	124	141	88.05	140	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：12,500t (95) ・主産地：愛知 (61)、千葉 (18)、神奈川 (13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知産は、夏の高温、少雨のため根の張りが悪く小玉傾向で少なめの出荷となっており、引き続き少なめの出荷の見込み。千葉産は、小玉傾向であるものの、順調な出荷で、少なかつた前年より多めの出荷になっている。今後は、平年並みの出荷の見込み。 ・愛知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)
		69.92	129	155	83.73	146	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：3,200t (89) ・主産地：愛知 (58)、大阪 (9)、鹿児島 (8)、三重 (7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は、台風の影響から曲り等が発生しているものの、肥大も進み順調な出荷で平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、順調な生育で肥大も進み、平年より多めの出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。茨城産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	218.22	213	277	229.99	290	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込数量：4,980t (100) ・主産地：千葉 (36)、埼玉 (22)、茨城 (15)、群馬 (12)、輸入 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は、台風の影響から曲り等が発生しているものの、肥大も進み順調な出荷で平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、順調な生育で肥大も進み、平年より多めの出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。茨城産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		444.77	568	608	450.51	666	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込数量：190t (102) ・主産地：徳島 (25)、高知 (16)、奈良 (15)、三重 (12)、大阪 (11)、香川 (10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城産は、10月の降雨と11月の低温等の影響により、引き続き小玉傾向で、出荷が終わる生産者もいることから、今後は徐々に減少傾向となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。
	はくさい	36.65	60	69	61.12	62	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：13,080t (95) ・主産地：茨城 (83)、群馬 (9) 	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城産は、10月の降雨と11月の低温等の影響により、引き続き小玉傾向で、出荷が終わる生産者もいることから、今後は徐々に減少傾向となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。
		53.29	76	90	68.7	78	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：4,300t (99) ・主産地：宮崎 (26)、愛知 (24)、茨城 (11)、和歌山 (9)、岡山 (6)、熊本 (6)、鹿児島 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬産は、1月中旬の低温により生育が停滞し、今後は、少なめの出荷となる見込み。茨城産は、順調な出荷の見込み。千葉産も、品質は良好なもの、1月中旬の低温の影響により少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・群馬産及び千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	ほうれんそう	350.1	533	621	307.66	610	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：1,520t (100) ・主産地：群馬 (31)、茨城 (21)、千葉 (21)、埼玉 (18) 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬産は、1月中旬の低温により生育が停滞し、今後は、少なめの出荷となる見込み。茨城産は、順調な出荷の見込み。千葉産も、品質は良好なもの、1月中旬の低温の影響により少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・群馬産及び千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		419.76	575	631	341.25	591	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：520t (90) ・主産地：徳島 (49)、福岡 (32)、群馬 (7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡産は、通常のものと違っていたものの出荷が重なり、多めの出荷となっていたものの、今後は1月中旬の低温の影響により、少なめの出荷となる見込み。兵庫産は、低温の影響で玉伸びせずに小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も、台風と降雨のために定植数が少ない時期のものの出荷時期になることから、少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	レタス (結球)	233.85	268	346	233.85	328	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：5,670t (100) ・主産地：静岡 (37)、兵庫 (12)、香川 (9)、熊本 (7)、千葉 (7)、福岡 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡産は、通常のものと違っていたものの出荷が重なり、多めの出荷となっていたものの、今後は1月中旬の低温の影響により、少なめの出荷となる見込み。兵庫産は、低温の影響で玉伸びせずに小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も、台風と降雨のために定植数が少ない時期のものの出荷時期になることから、少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		226.75	274	340	226.75	324	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：850t (109) ・主産地：兵庫 (50)、徳島 (21)、香川 (9)、熊本 (7)、鹿児島 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡産は、通常のものと違っていたものの出荷が重なり、多めの出荷となっていたものの、今後は1月中旬の低温の影響により、少なめの出荷となる見込み。兵庫産は、低温の影響で玉伸びせずに小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も、台風と降雨のために定植数が少ない時期のものの出荷時期になることから、少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
果 菜	たまねぎ	76.15	126	124	76.15	134	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：7,810t (90) ・主産地：北海道 (80)、輸入 (15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道産は、生育期の少雨等の影響で肥大が進まず全体的に小玉傾向の出荷となつており、平年より少なめの出荷の見込み。 ・北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		76.15	137	133	76.15	135	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：2,800t (75) ・主産地：北海道 (73)、兵庫 (19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道産は、生育期の少雨等の影響で肥大が進まず全体的に小玉傾向の出荷となつており、平年より少なめの出荷の見込み。 ・北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	きゅうり	370.98	328	464	370.98	344	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：4,830t (100) ・主産地：宮崎 (42)、千葉 (20)、高知 (17)、茨城 (7)、埼玉 (5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎産は、順調な出荷となり、平年並みの出荷の見込み。高知産は、好天により多めの出荷となっているものの、今後は低温の影響で生育が停滞することから、出荷が落ち着き、平年並みの出荷へ向かう見込み。千葉産は、年明け以降の低温の影響で肥大が停滞し、平年よりやや少なめの見込み。 ・宮崎産及び高知産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		350.33	308	447	350.33	319	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：1,050t (102) ・主産地：宮崎 (45)、徳島 (20)、高知 (20)、愛媛 (8) 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本産は、好天により順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。愛知産も、順調な出荷で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
	トマト (大玉)	332.6	437	410	332.6	337	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：5,220t (100) ・主産地：熊本 (47)、愛知 (17)、栃木 (10)、宮崎 (6)、静岡 (5)、千葉 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本産は、好天により順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。愛知産も、順調な出荷で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		311.06	409	381	311.06	328	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：1,000t (103) ・主産地：熊本 (66)、愛知 (12)、福岡 (7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高知産は、好天により順調な生育、出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。福岡産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も、やや少なめの出荷の見込み。 ・高知産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
	なす	389.03	481	465	389.03	387	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：1,790t (98) ・主産地：高知 (62)、福岡 (19)、佐賀 (5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高知産は、好天により順調な生育、出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。福岡産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も、やや少なめの出荷の見込み。 ・高知産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		397.74	484	483	397.74	367	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：300t (94) ・主産地：高知 (41)、熊本 (25)、福岡 (17)、岡山 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高知産は、好天により順調な生育、出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。福岡産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も、やや少なめの出荷の見込み。 ・高知産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
根 菜	ピーマン	344.39	460	497	551.24	546	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：1,150t (100) ・主産地：宮崎 (46)、高知 (22)、鹿児島 (18)、茨城 (13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎産は、好天により、順調な生育、出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。高知産は、生育良好で樹勢も良いため、順調な出荷で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		353.61	444	485	513.91	526	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：290t (101) ・主産地：宮崎 (58)、高知 (29)、鹿児島 (10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎産は、好天により、順調な生育、出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。高知産は、生育良好で樹勢も良いため、順調な出荷で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	だいこん	64.33	76	89	79.03	86	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：12,810t (100) ・主産地：神奈川 (55)、千葉 (34) 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川産は、生育が順調で平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育が順調で平年並みの出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		76.48	81	89	80.47	82	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：3,200t (117) ・主産地：鹿児島 (32)、徳島 (23)、長崎 (19)、和歌山 (18) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は、夏場の高温と生育時の少雨で小ぶり傾向で、平年より少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	にんじん	100.82	136	166	101.05	151	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：5,990t (95) ・主産地：千葉 (77)、埼玉 (8)、茨城 (4)、輸入 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は、夏場の高温と生育時の少雨で小ぶり傾向で、平年より少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		104.49	198	221	104.73	140	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：1,850t (90) ・主産地：長崎 (41)、鹿児島 (32)、鳥取 (13)、愛知 (9) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は、夏場の高温と生育時の少雨で小ぶり傾向で、平年より少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。

種類	12月の価格情報		1月の価格情報		生育及び価格の1月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロッック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格				
		中旬	下旬					
いも	さといも	200.88	261	259	217.95	306	・入荷見込量：740t (95) ・主産地：埼玉 (39)、千葉 (27)、輸入 (8)	・埼玉産は、掘り取りが終了しており、平年並み若しくはやや多めの出荷の見込み。千葉産は、夏場の高温、少雨の影響から少なめの出荷となっている。
		207.2	310	378	219.65	391	・入荷見込量：201t (-) ・主産地：愛媛 (46)、宮崎 (44)、輸入 (6)	・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
	ばれいしょ	88.17	102	103	88.17	107	・入荷見込量：8,140t (100) ・主産地：北海道 (62)、長崎 (30)	・北海道産は、地域により作柄に違いはあるが、全体では最も出荷の多い十勝の作柄が良かったことから、平年よりやや多めの出荷の見込み。長崎産は、秋作が定植時の少雨の影響で生育が遅れており、少なめの出荷の見込み。
		88.17	100	98	88.17	100	・入荷見込量：3,300t (89) ・主産地：北海道 (63)、長崎 (32)	・出荷の大半を占める北海道産の貯蔵ものの計画的な出荷が見込まれる中、長崎産の出荷が少なめと見込まれることから、平年をやや上回って推移する見込み。

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。
2 別別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るものの、背景あるいは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と別別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、11月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,852gで前年比96%、購入金額は、1,806円で同113%となり、購入数量はほぼ前年並み、購入金額はかなり上回った。

また、小売物価統計によると、12月のキャベツの小売価格は、249円で過去5か年平均比168%、レタスは、659円で同133%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を大幅に上回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成24年		平成25年			
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比	購入金額(円)	前年比
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,243	101	1,669	102
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,553	101	1,652	95
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	4,961	108	1,769	96
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	5,019	109	1,809	95
5月	5,055	1,905	4,945	1,948	5,257	106	1,861	96
6月	5,048	1,881	5,103	1,875	5,249	103	1,897	101
7月	4,421	1,691	4,386	1,675	4,456	102	1,783	106
8月	4,318	1,689	4,245	1,618	4,422	104	1,741	108
9月	4,839	1,783	4,916	1,703	4,577	93	1,863	109
10月	5,280	1,840	5,242	1,761	5,225	100	1,932	110
11月	5,030	1,630	5,039	1,602	4,852	96	1,806	113
12月	5,140	1,837	5,169	1,888	0			

主要野菜の小売価格(東京都区部)

	キャベツ	レタス				
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
1月	187	203	109	579	904	156
2月	203	204	100	555	722	130
3月	207	181	88	512	434	85
4月	248	207	83	466	426	91
5月	175	133	76	369	318	86
6月	140	137	98	338	274	81
7月	149	173	116	308	385	125
8月	138	140	101	414	371	90
9月	142	160	113	526	461	88
10月	150	182	121	467	432	93
11月	155	193	125	385	584	152
12月	148	249	168	495	659	133

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

注：1 過去5か年平均は、平成20~24年の平均。

2 平成25年12月の値は、12月中旬の速報値。

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成20~24年の平均。

3 野菜の輸入動向

12月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比16% (中国は同159%、アメリカは同215%) の3万7千トン、にんじんは、同186% (中国は同189%、オーストラリアは同68%) の9千トン、ねぎは、同110% (中国は同110%) の5千トンとなり、たまねぎ、にんじん、ねぎともに前年を大幅に上回った。

野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

区分	平成23年		平成24年		平成25年1~11月		平成25年11月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	前年同月比	前年同月比
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	758,704	87	68,884	109
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	1,689,231	97	155,762	90
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	2,447,936	94	224,647	95
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	1,267,123	95	130,280	105
中国産シェア	52		51		52		58	

主な野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成24年12月(A)		平成25年12月(B)		(B)/(A)	
		平成24年12月(A)	平成25年12月(B)	平成24年12月(A)	平成25年12月(B)	平成24年12月(A)	平成25年12月(B)
たまねぎ	合計	21,772	36,753	169			
	中国	17,840	28,361	159			
	アメリカ	3,883	8,348	215			
にんじん	合計	4,871	9,069	186			
	中国	4,762	8,977	189			
	オーストラリア	72	49	68			
ねぎ	合計	4,402	4,833	110			
	中国	4,392	4,830	110			

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成25年12月は、速報値。

4 トピック — キャベツの需給動向 —

平成25年は、キャベツの卸売価格が、秋以降に高